

祝 ISS国際認証取得!

中学校区単位での取得は全国初

秩父第二中学校区の秩父第二中学校、花の木小学校、南小学校では、昨年12月、全国初となる中学校区単位でのインターナショナルセーフスクール(=ISS)国際認証校となりました。

認証式典では、審査員のタニア・ペーターズ氏(ニュージーランド)、日本セーフコミュニティ推進機構代表理事で審査員の白石陽子氏と、久喜邦康市長、新谷喜之教育長、学校長、PTA会長、児童・生徒会長が、合意書に署名した後、タニア氏、白石氏からISS認証盾および認証旗が授与されました。



認証旗・盾の披露 (秩父第二中学校)



認証合意書への署名 (南小学校)



認証合意書の披露 (花の木小学校)

【表1】 ISSでの取り組み (抜粋)

課題	取り組み
小学校 休み時間中のケガが多い	児童・教員による遊具の安全点検 (写真①) 目的：危険箇所の早期発見、環境改善 内容：教員は月1回、児童は委員会の時間に、実際に遊具にさわり、点検を行う。
	危険箇所表示の設置 (写真②) 目的：注意喚起、環境改善 内容：児童が自ら外傷多発箇所を考え、注意喚起表示を設置する。
中学校 部活動中のケガが多い	部活動安全点検の実施 (写真③) 目的：危険箇所の改善、安全意識の向上 内容：月に1回、各部で危険箇所の点検を行い、事故防止につなげる。



写真③ (部活動安全点検)



写真① (遊具の安全点検)



写真④ (安全マップの作成)



写真② (危険箇所の表示)

ISSの取り組み

ISSは、安全な教育環境づくりを目指す学校に与えられる国際認証です。科学的なデータに基づく分析・取り組み、そして効果を評価する仕組みを継続的に推進することが条件です。各推進校では、学校内でのケガの予防、部活動での安全点検などさまざまな取り組み

みが行われています【表1】。また、通学路の危険については、秩父第二中学校区内の地域安全点検を実施し、交通事故や犯罪等の危険箇所を点検し、安全マップにまとめ、情報の共有や改善を行っています。(写真④)。

ISSの取り組みによって、児童・生徒の安全意識の向上などの効果ができています。今後も、より安全で安心な学校づくりのため、取り組みを進めていきたいと考えています。
問 教育研究所 ☎22-2446
危機管理課 ☎22-2206